

田村市郎君

関 木吉君

以上、二十名を指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました二十名の諸君を昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員会の委員に選任することに決定いたしました。

○議長(森田治男君)

日程第十三議事第六十八号 昭和六十年度福生市国民健康保険特別会計決算認定についてを議題といたします。

本題について、提案理由の説明を求めます。

(会計課長 持田 巽君登壇)

○会計課長(持田 巽君)

御指名をいただきましたので、議事第六十八号 昭和六十年度福生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算につきまして御説明申し上げます。

お手元にご覧います決算書の二二七 ページを開き願いたいと思います。

それでは、歳入から御説明いたします。

歳入の予算総額十四億八千三百八十二万二千円に對しまして、収入済額十四億六千七百五十九万九千五百八十八円でございます。収入率は九八・九％となっております。

次に、歳入の内容につきまして御説明申し上げます。

第一款 国民健康保険税 予算現額四億一千九百八十七万四千円に對しまして収入済額三億九千八百七十七万六千七百十円でございます。前年度と比較いたしまして四百三十九万三千五百七十円の増となっております。

第二款 国庫支出金、予算現額五億七千五百八十六万二千円、収入済額六億五百六十四万四千九百十三円でございます。国庫支出金の収入済額でございますが、国庫負担金収入が五億三千九百七十五万九百十三円でございます。その主な収入でございますが、診療費に對する療養給付費等負担金収入が五億七千三百六十九万六千三百六十六円でございます。同じく、国庫補助金収入でございますが、六千五百八十九万四千円でございます。この主な収入は、退職者医療に伴う財政援助に對する財政調整のための特別交付金でございます。

第三款 療養給付費交付金でございますが、予算現額一億三千二百三十

六万五千円に對して、収入済額一億二千三百五十五万四千五百六十六円でございます。
これは、退職者医療交付金収入でございます。

第四款、都支出金、予算現額九千二百四十四万に對して、収入済額七千二百二十八万
一千三百七十四円でございます。これは、国民健康保険に對する都の財政調整補助金
収入でございます。

第五款、繰入金、予算現額二億九百三万に對して、収入済額も同じく二億
九百三万に對して、これは、一般会計からの繰入金でございます。前年度と比較い
たしまして一億一千七百五万に減っております。

第六款、繰越金、予算現額五千二百六十一万六千に對して、収入済額五
千二百六十一万六千三百四十一円でございます。これは、前年度からの繰越金でござい
ます。

第七款、諸収入、予算現額四百八万一千に對して、収入済額六百六十三万
五千二百三十四円に對して、その主な収入は預金利息、それから、第三者行為によ
りする納付金収入でございます。

第一款から第七款までの収入済額の合計でございますが、十四億六千七百五十

万九千五十八円に對して、前年度と比較いたしまして一億六千九百五十五万四千
百四円、一三・一％の収入増となっております。

以上で歳入の説明を終らうとしていたんですが、

続きまして、歳出の御説明を申し上げます。二二九 ページをお開きいた

ださなれと思います。

歳出の予算総額十四億八千三百八十八万二千に對して、支出済額十四
億三千八百二十万一千五百十九円に對して、予算の執行率は九六・九％となつて
おります。

歳出の内容でございますが、第一款、総務費、予算現額五千三百三十九万五千
円に對して、支出済額五千百九十九万八千四百五十円に對して、主な支出といふしまして
は、人件費及び事務費でございます。

第二款は、保険給付費、予算現額十億二千七百五十八万二千に對して、
支出済額は十億九千三万五千百六十六万に對して、前年度と比較いたしまして
七千九百八十八万二千三百七十四円、一〇％の支出増となつております。

保険給付費のうち療養諸費は九億三千二百六十六万九千九百一円に對して、主な支

出といたしましては、一般被保険者の療養給付費を二千四百件分で七億四千四百九十六万六千七百九十一円、退職者被保険者等の療養給付費を九千六件分で二億三千九百九十二万四千五百六十二円でございす。同じく高額療養費でございす。又、支出済額七千九百二十五万三千二百六十四円でございまして、給付件数は一般被保険者八千九十八件、退職者被保険者等が百十六件でございす。助産費でございす。百四十二件分で一千四百二十万円、葬祭費につぎましては百二十八件分で三百八十四万円でございす。それから、育児手当金でございす。百三十六件分で二十七万二千円とっております。

第三款でございす。老人保健拠出金、予算現額三億八千六百六十三万二千円に對しまして、支出済額が三億八千六百六十三万八千八百八十三円とっております。これは、老人保健事業への医療費及び事務費の拠出金でございす。

第四款でございす。共同事業拠出金、予算現額二万円に對しまして、支出済額千九百二十四円でございまして、これは、年金受給権者の一覽表打り出しのための拠出金でございす。

第五款でございす。保健施設費、予算現額二十九万六千円でございし

て、支出済額二十二万五千五百六十四円でございす。これは、被保険者に對しまして、医療通知とする経費及び保養施設利用者に對する扶助でございす。

第六款の公債費でございす。予算現額三百二十五万五千円に對しまして、支出済額は百四十三万六千八百九十九円とおります。これは、国保会計の所屬現金に不足が生じたための繰りかえ運用に伴う利子でございす。

それから、第七款でございす。諸支出金、予算現額二百八十九万六千円に對しまして、支出済額百九十七万六千四百四十七円でございす。これは、都支出金の精算返還金と過誤納保険税の還付金でございす。

第八款の子補費の支出はゼロでございす。

歳入の第一款から第八款までの支出済額の合計は十四億三千八百二十三万五千九百九十九円でございます。前年度と比較いたしまして一億九千二百八十六万二千九百六円、一五・五%の増となっております。

歳入歳出の差し引き残額でございす。二千九百三十三万五千三百九十九円とおります。

以上で昭和六十年度の福生市国民健康保険特別会計歳入歳出決算内

答へつて御説明申し上げました。

大変難駁の御説明でございましたが、何とが慎重御審査いたしまして、原案のとおり御認定くださいますようお願いを申し上げまして、説明にかえつていただきます。

○議長(森田治男君) 引き続き、監査委員から監査結果の報告を求めます。

(監査委員 村尾栄次君登壇)

○監査委員(村尾栄次君) 御指名でございましたので、昭和六十年度福生市国民健康保険特別会計の決算審査につきまして御報告を申し上げます。

内容につきましては、意見書のとおりでございますので、ここでは補足的な意見を述べさせていただきます。

歳出において、療養諸費等診療費や老人保健拠出金の増加の反面、歳入は、保険税の伸び悩み、国、都支出金の補助率の低下等もあり、一般会計からの繰入金日、前年度と比較して一億二千七百万円の増の二億九百万円となっております。

このような情勢が今後も継続いたしますと、国保会計はもうろく市中財政にも不安な負担となつてくるものと思われれます。

ついで、適切に医療給付の推進を図り、応能応益の原則による保険税の改正、国、都補助金の増額等の要求を積極的に進め、今後の健全な運営を図られますよう御要望申し上げます。報告とさせていただきます。

○議長(森田治男君) 以上で提案理由の説明及び監査結果の報告は終わりました。

これより本会に対する質疑を行います。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第六十八号は、厚生委員会に付託したいと思ひますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よつて議案第六十八号は、厚生委員会に付託することに決定いたしました。

ただいま厚生委員会に付託いたしました議案第六十八号は、開会中の継続審査とするに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって議案第六十八号は、開会中の継続審直とする事に決定いたしました。

○議長(森田治男君) 日程第十四議案第六十九号 昭和六十年度福生市老人保健

医療特別会計決算認定についてを議題といたします。

本件について、提案理由の説明を求めます。

(会計課長 持田 巽君登壇)

○会計課長(持田 巽君) 御指名をいただきましたので、議案第六十九号 昭和六十年度福生市老人保健医療特別会計歳入歳出決算につきまして御説明申し上げます。

決算書の二八七ページをお開きいただきますと思います。

それでは、歳入から御説明申し上げます。

歳入予算総額八億七千六百二十万九千円にしまして、収入済額八億六千五百二十一万九千七百九十八円、収入率九八・七％となっております。

歳入の内容につきまして御説明申し上げます。

第一款、支払基金交付金、予算現額六億二千八百八十二万八千円にしまして、収入済額六億二千六百一十五万五千円でございます。これは、各保険者からの拠出されました支払基金からの医療費及び審直支払手数料交付金収入でございます。

第二款、国庫支出金、予算現額一億七千三百八十九万七千円にしまして、収入済額一億六千三百十四万二千三百九十九円でございます。これは、医療費に対する国の負担金でございます。

第三款、都支出金、予算現額四千三百四十万五千円にしまして、収入済額四千三百二十万六千円でございます。これは、医療費に対します東京都の負担金でございます。

第四款、繰入金、予算現額四千三百四十万四千円にしまして、収入済額は予算額と同額でございます。これは、医療費に対する市負担分で、一般会計からの繰入金でございます。

第五款、繰越金、予算現額四百五十二万九千円にしまして、収入済額四百五十二万九千四百二十一円でございます。これは、前年度からの繰越金でございます。

第六款、諸収入、予算現額六千円にしまして、収入済額二十五万二千九百七十八円でございます。主な収入といたしましては、預金利子収入でございます。

歳入の第一款から第六款までの収入済額の合計でございますが、八億六千五百二十一万九千七百九十八円となっております。

続きまして、歳出の御説明をいたします。二八九ページをお開きいただきたいと思います。

歳出の予算総額八億七千六百二十九万九千円としまして、支出済額の総額でございますが、八億六千四百三十四万四千一百円でございます。予算に対する執行率でございますが、九八・六％でございます。

第一款、医療諸費でございますが、予算現額八億七千六百六十七万円としまして、支出済額八億五千九百八十一万四千六百八十八円となっております。前年度と比較いたしますと一億三千二百一十一万六千六百六十五円、一七・八％の増となっております。主な支出といたしましては、医療給付に要する経費八億三千六百五十二万三千四百三十五円でございます。

第二款、諸反出金でございますが、予算現額四百五十三万三千円としまして、支出済額四百五十二万九千四百三十一円でございます。これは、反乱基金、国、郡、市負担の精算によりまして反出でございます。

予備費の反出はゼロでございます。

歳出の支出済額の合計でございますが、八億六千四百三十四万四千一百円となります。

歳入歳出の差し引き残額でございますが、八千七万五千六百九十七円となります。

以上で昭和六十年度福生市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の内容につきまして御説明申し上げます。

大変雑駁な御説明でございましたが、何とぞ慎重御査査をいただきまして、原案を御認定くださいますようお願い申し上げます。説明にかえらせていただきます。

○議長(森田治男君) 引き続き、監査委員から監査結果の報告を求めます。

(監査委員 村尾栄次君登壇)

○監査委員(村尾栄次君) 御指名によりまして、昭和六十年度福生市老人保健医療特別会計の決算査査につきまして御報告を申し上げます。

お手元に御配付の意見書四七ページにありますように、歳入において、前年度と比較し一五・七％の増、歳出において一六・三％の増となっております。特に、医療諸費は一七・八％と、大幅な伸びを示しております。

今後とも高齢者の増大が予想されますので、老人保健法の趣旨にのっとり、健康相談、健康診断等の老人の健康増進施策の充実も一層推進され、医療費等の

節減と老人の生活の向上を図られますようお願いを申し上げます。

○議長(森田治男君) 以上で提案理由の説明及び監査結果の報告は終わりました。

これより本会に対する質疑を行います。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第六十九号は、厚生委員会に付託したいと思
います。御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって議案第六十九号は、厚生委員
会に付託することに決定いたしました。

ただいま厚生委員会に付託いたしました議案第六十九号は、閉会中の継続審査
とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって議案第六十九号は、閉会中の継

続審査とすることに決定いたしました。

○議長(森田治男君) 二時三十五分まで休憩いたします。

午後二時三十二分 休憩

午後二時三十分 開議

○議長(森田治男君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長(森田治男君) この際、報告事項がありますので、事務局長として報告をいた
します。

(井上議会議務局長報告)

一、昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員会委員長及び同副委
員長の互選結果報告(別添参照)

○議長(森田治男君) 以上で報告は終わりました。

○議長(森田治男君) ただいま報告いたしましたとおり、特別委員会の正、副委員長の互選結果が、さういっております。

ここで、正、副委員長になられた方々から、ごあいさつをお願いいたします。まず、委員長、齋藤 巽君。

(昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員長 齋藤 巽君登壇)

○昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員長(齋藤 巽君) 昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員長と御指名をいただきました。一言ごあいさつを申し上げます。

ただいま、委員互選の結果、昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員会が委員長と選任されました。身に余る光栄とともに、責任の重大さを深く痛感しております。どうか先輩議員各位、同期の皆様方の絶大なる御支援と御協力をお願いいたします。無事大任を果さできますよう、心からお願いを申し上げます。簡単でございませうが、ごあいさつにかえておいていただきます。よろしくお願いたします。(拍手)

○議長(森田治男君) 次に副委員長、石川 泰一君。

(昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別副委員長 石川 泰一君登壇)

○昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別副委員長(石川 泰一君) 先ほど、昭和六十年度福生市一般会計決算審査特別委員会が副委員長に選任をいただきました。石川 泰一でございませう。

もとより、浅学非才ではございますが、委員長とともに委員会が円滑に運営に鋭意努力したいと思っております。

どうかよろしく議員の皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。

甚だ簡単でございませうが、ごあいさつにかえておいていただきます。よろしくお願いたします。(拍手)

○議長(森田治男君) 以上で正、副委員長のごあいさつは終わりました。

○議長(森田治男君) 日程第十五議案第七十号、昭和六十年度福生市福生市郡市計画事業福生市土地整理事業会計決算認定についてを議題といたします。本題について、提案理由の説明を求めます。

(会計課長 持田 巽君登壇)

○会計課長(持田 巽君) 御指名をいただきますので、議事第七十号昭和六十年度
福生市福生郡市計画事業福生土地区画整理事業会計歳入歳出決算につ
きまして御説明申し上げます。

決算書の二五一ページをお開き願いたいと思います。

第一款、繰越金でございますが、予算現額二十万円で対しまして、収入済額二十二
万五千七百五十円でございます。これは、前年度からの繰越金でございます。

第二款、諸収入、予算現額四十六万一千円に対しまして、収入済額四十二万三千八百四
円でございます。収入済額の内訳は、預金利息が七万四千四十円、換地清算の徴収金
三十四万九千四百四十円でございます。

歳入予算総額六十六万一千円に対しまして、収入済額の合計は六十四万八千七百
八十九円でございます。

以上で歳入の説明を終わらせていただきます。
続きまして、歳出の御説明を申し上げます。

第一款、総務費、予算現額十三万七千円に対しまして、支出済額十一万一千四
百三十八円でございます。支出の内訳でございますが、区画整理に伴う事務費で

ございます。

第二款でございますが、諸支出金、予算現額四十六万円で対しまして、支出済額は
三十四万九千四百四十円でございます。これは、区画整理事業の徴収金の一般会計への
繰出金でございます。

第三款の予備費の支出はゼロでございます。

支出済額の合計は四十五万四千八百二十二円となります。

歳入歳出の差し引き残額は十九万八千三百七十四円でございます。

以上、昭和六十年度福生市福生郡市計画事業福生土地区画整理事業会計
計歳入歳出決算内容につきまして御説明申し上げます。

大変雑駁な御説明でございますが、何とぞ慎重御審査をいただきます。原
案御認定くださいますようお願い申し上げます。説明にかえらせていただきます。

○議長(森田 治男君) 引き続き、監査委員から監査結果の報告を求めます。

(監査委員 村尾 栄次君登壇)

○監査委員(村尾 栄次君) 御指名によりまして、昭和六十年度福生市福生郡市計
画事業福生土地区画整理事業会計の決算を審査し、御報告を申し上げます。

ます。

内容につきましては、審査意見見書四四ページのとおりであります。

今後は、早期に清算金等の事務が終了されますようお願いを申し上げます。
決算の報告といたします。

○議長(森田治男君) 以上で提案理由の説明及び監査結果の報告は終わりました。

これより本会に対する質疑を行います。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 以上で質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第七十号は、建設委員会に付託したい
と思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって議案第七十号は、建設委

員会に付託することに決定いたしました。

ただいま建設委員会に付託いたしました議案第七十号は、閉会中の継続審

査とすることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(森田治男君) 御異議なしと認めます。よって議案第七十号は、閉会中の継
続審査とすることに決定いたしました。

○議長(森田治男君) 日程第十六、議案第七十一号昭和六十年度福生市下水道事業
会計決算認定についてを議題といたします。

本会について、提案理由の説明を求めます。

(会計課長 持田 巽君登壇)

○会計課長(持田 巽君) 御指名をいただきましたので、議案第七十一号昭和六十年度
福生市下水道事業会計歳入歳出決算につきまして御説明申し上げます。

決算書の二六三ページを開き願います。

それでは、歳入から御説明申し上げます。

歳入予算総額十八億七千三百円に對しまして、収入済額十八億五千七百七十九円
でございます。収入率は九九・九％でございます。